

◆ ポートライナーで交通環境教室を開催しました！

国土交通省神戸運輸監理部は、平成 30 年 2 月 22 日（木）に、神戸新交通株式会社の協力を得て、社会福祉法人成晃会 成晃ひかり保育園の園児 31 名を対象に、交通環境教室を開催しました。ポートライナー※及び車両基地を利用した教室は今回が初めてです。また、公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」が神戸に初上陸しました。

※ポートライナー（神戸新交通ポートアイランド線）は、神戸の中心地・三宮からポートアイランド、神戸空港までを結ぶ新交通システムの路線



のりたろうが園児をお出迎え



保育園では、神戸運輸監理部職員が公共交通に関する講話を行いました。鉄道をはじめとする公共交通は、高齢者や障がい者等を含め誰でも乗ることができる「人にやさしい」乗り物であるとともに、CO₂ 排出量が少なく地球温暖化の防止につながる「地球にやさしい」乗り物でもあることを、イラストを中心としたスライド

で分かりやすく説明しました。園児たちは、質問に元気に答えるなど、楽しく公共交通の利便性や安全性について学びました。

講話「公共交通ってなあに？」

た。園児たちなど、楽しく公

保育園から車両基地には、ポートライナーを利用して移動しました。整列乗車すること、車内で騒がないことなど、利用時のマナーを体験するとともに、講話で説明した「人にやさしい」設備（視覚障害者誘導用ブロック、ホームドア、音声案内、電光掲示板、エレベーター、スロープ、多機能トイレ等）を駅や車内で見たり、聞いたり、触ったりして、体感しました。



点字案内板を触ってみる

車両基地では、神戸新交通株式会社職員がポータライナーの車両の仕組みや点検・整備について説明したあと、車両の中から洗車の様子を見学しました。園児たちは、普段見ることのできない様々な設備等を興味深そうに見学し、洗車体験では大迫力の洗車機に驚きと興奮の声を上げていました。



ポータライナーの博士（整備士）が説明



車両の中から洗車体験

園児たちからは「出かけるときは電車やバスに乗りたい。」「お父さん、お母さんを誘って乗ってみる。」「電車の整備士になりたい。」「ホームドアがあると安心。」等、嬉しい感想が多く寄せられ、のりたろうは喜んでいました。この様子は、サンテレビのニュースや神戸新聞の記事で紹介されました。



ホームドアを説明



のりたろうとポータライナーの車両基地

今後も当運輸監理部は、このような教室開催に積極的に関わり、公共交通への関心を高めるとともに、公共交通利用促進を図ります。

(国土交通省神戸運輸監理部)